

※ 当ファンドの購入の申込期間は終了しています。

情報提供資料

2026年7月

ポートフォリオ構築完了のお知らせ

～ 高利回り円建社債／成長戦略プラス2026－05 ～
(愛称:デュアルキューブ2605)

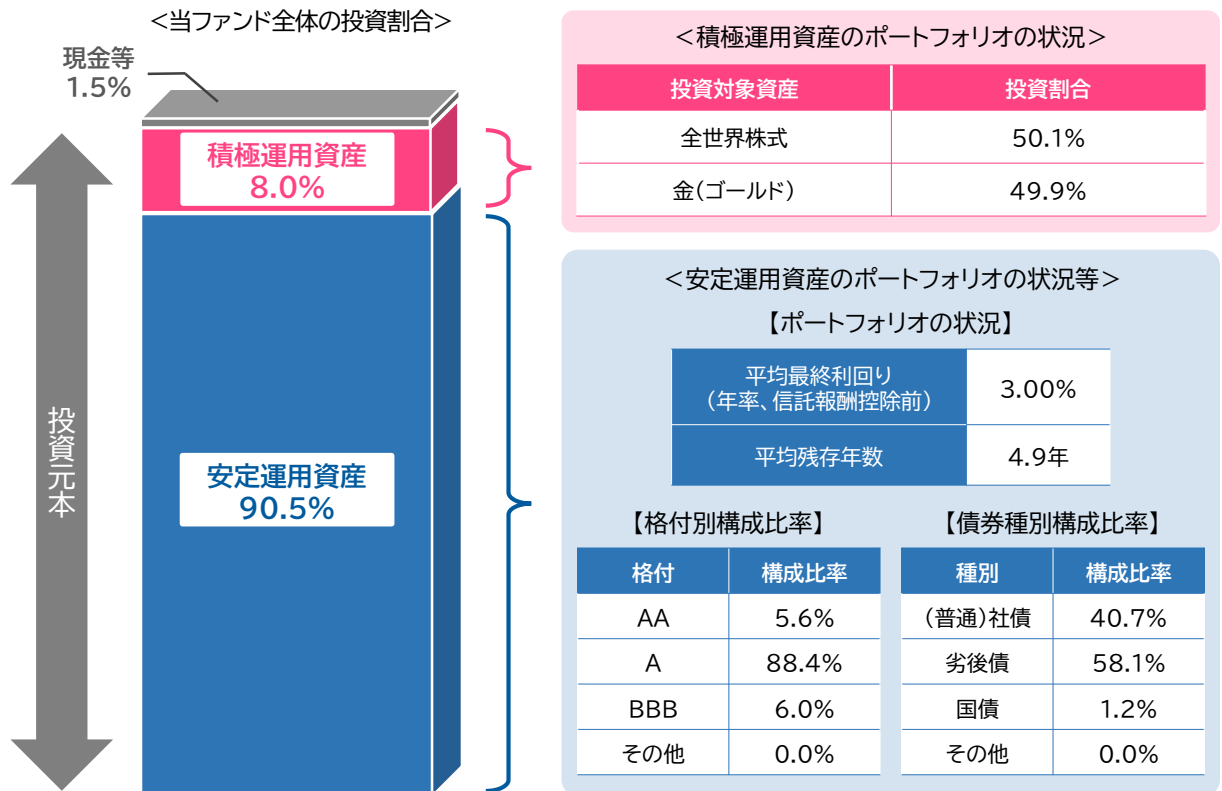
単位型投信／内外／資産複合

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、2026年5月29日に設定・運用を開始し、ポートフォリオ構築が2026年7月10日に完了いたしました。当資料では、ポートフォリオの状況および今後の運用方針等についてご報告いたします。

<当ファンドのポートフォリオの状況>

(2026年7月10日時点)



※ 上記は2026年7月10日時点の当ファンドのポートフォリオの状況を示したものです。ポートフォリオの状況は市場環境等により変動します。当ファンド全体の投資割合は、各資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

<積極運用資産のポートフォリオの状況について>

※ 全世界株式は、RM MSCI ジャパン・インデックスマザーファンド、RM先進国株式マザーファンドおよびRM新興国株式マザーファンドの合計を指します。また、金(ゴールド)は、RMゴールドマザーファンド(為替ヘッジなし)を指します。投資割合は、積極運用資産全体に対するそれぞれの割合を示しています。

<安定運用資産のポートフォリオの状況について>

※ 平均最終利回り(年率、信託報酬控除前)は、各組入銘柄の最終利回りを、当銘柄の安定運用資産全体に対する組入比率で加重平均した値です。

※ 平均残存年数は、同様に各組入銘柄の残存年数を当銘柄の組入比率で加重平均した値です。なお、繰上償還条項が付与されている銘柄は、次回の繰上償還可能日を基準に算出しています。

※ 格付別構成比率および債券種別構成比率は、安定運用資産全体に対する比率です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※ 組入銘柄の格付は、Moody's、S&P、R&I、JCR 4社の格付のうち、一番高い債券格付または発行体格付を使用しています。格付の表記はS&Pに準拠しています。

<安定運用資産の組入上位5銘柄>

(2026年7月10日時点)

(組入銘柄数:18銘柄)

	銘柄名	種別	クーポン	最終利回り (年率)	償還日	残存 年数	最上位 格付	組入 比率
1	第33回BPCE.SA社債	(普通) 社債	2.788%	2.854%	2031年 7月9日	5.0年	A	6.1%
2	第31回イオンフィナンシャルサービス株式会 社社債	(普通) 社債	2.513%	2.635%	2031年 7月2日	5.0年	A	6.1%
3	第2回JFEホールディングス株式会社社債 (劣後特約付)	劣後債	2.940%	2.991%	2031年 6月11日	4.9年	A	6.1%
4	第29回株式会社三菱UFJフィナンシャル・ グループ社債(劣後特約付)	劣後債	2.919%	3.070%	2031年 7月15日	5.0年	A	6.1%
5	第26回クレディ・アグリコル・エス・エー社債	(普通) 社債	2.654%	2.818%	2031年 6月4日	4.9年	A	6.1%

- ※ 各銘柄の最終利回り(年率)、残存年数、最上位格付、組入比率は、2026年7月10日時点基準としており、今後変動します。
 ※ 繰上償還条項が付与されている銘柄の償還日は、次回の繰上償還可能日を表示しています。
 ※ 繰上償還条項が付与されている銘柄の残存年数は、次回の繰上償還可能日を基準に算出しています。
 ※ 最上位格付とは、組入銘柄に関して、Moody's、S&P、R&I、JCR 4社が付したうち、一番高い債券格付または発行体格付を指します。
 ※ 組入比率は、安定運用資産全体における各銘柄の投資比率を示しています。

足元の国内債券市場環境と安定運用資産の運用方針について

- 6月の国内債券市場は、日銀の金融政策決定会合を前にした投資家による様子見姿勢や、含み損を抱えた投資家が社債を処分する動きなどが見られましたが、新発債の発行が相対的に少なかったこともあり、需給は安定的に推移しました。同会合では利上げが決定されましたが、事前に予想されていたこともあり、国内債券市場への影響は限定的でした。なお、プライマリー市場ではJFEホールディングスが募集した劣後債(総額600億円の発行)に対し、3,000億円を上回る最終需要が集まり、スプレッドの厚い銘柄に対する旺盛な需要が継続していることが確認されました。
- 当ファンドでは、信用力分析に基づき、満期まで4～5年程度の年限で相対的に高い利回りを期待できる公社債を選定し、組入を行いました。銘柄選定においては、事業基盤や財務基盤が堅固であると判断した企業の発行債券について、投資魅力度を吟味しました。今後は組み入れた銘柄が償還されるまで、各銘柄の発行体の信用力を継続的にモニタリングしてまいります。

※ 作成時点の判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

<当ファンドの設定来の基準価額と純資産総額の推移>

(期間:2026年5月29日(設定日)～2026年7月10日、日次)



- ※ 基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。
 ※ 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

<当資料についての留意事項>

当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会